

# 日販連通信

発行者：日本販売農業協同組合連合会

中塚 敏春

第 22 号  
2011 年 6 月 27 日 発行

住所：〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-5-5  
新宿農協会館  
電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637  
Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

## 被災地支援行動のお知らせ

7月15～16日、宮城県被災地支援行動を予定しています。

15日は本会総会を現地宮城県で開催し、生協の被災と復興、福島の原因事故についての学習会を行い、力をつけて16日に炊き出し、野菜などの配布提供を行います。総会学習会会場は仙台市の「生協あいコープみやぎ」にお願いし、被災地支援行動は東松島市矢本の仮設住宅の予定です。

当日は本会役員、会員農協を先頭に、東京民医連有志、宮城県農民連などと共同での企画となります。牛肉、豚肉、野菜、果実、納豆、卵、漬物などの出品をお待ちしています。現地輸送には埼玉県入間市の金宮運輸株式会社が協力してくれます。

## 「総合産直協議会」を設立

多様な販売先に迅速に対応 茨城県やさと農協





茨城県やさと農協(石岡市)は東都生協との産直が1976年にたまごの産直で始まり、その後、故宮崎宏先生の指導の下、「地域総合産直」が確立されました。東都生協は「私たちが、本当に良い作物をずっと手に入れ続けるためには、産地の一部の生産者だけを見ているのではなく、地域全体の農業を考えていかなければならない、地域の振興があつて初めて、将来にわたって産直の展望が開ける」との考えから地域総合産直のモデルとして取り組んできました。

しかし、農業体験を積み重ねてきても、農作業自体が目的となり、そこから先の農業への深い理解、ともに日本の農業、食料を守っていくというところまでは踏み込めずにいました。

従来、鶏卵生産部会(14人)、野菜果物産直協議会(220人)、鶏肉生産部会(7人)、稲作部会(64名)のそれぞれが個々に産直に取り組んできたことも農協の総合力の発揮ができない原因でした。今後はこれら組織が共同して地域全体の農業、食のあり方を消費者と生産者が一緒に考えることを推進するために取引生協も招いて6月21日に設立総会を開催しました。

規約では協議会の目的を「畜産、野菜、果樹、水稻等の生産組織が連携を強め、地域内の資源を有効に活用することで地域循環の環境保全型農業に取り組み、産直産地として生協を中心とした消費者の求める農産物の生産と安定供給のために、消費者と一体となった地域総合産直の前進・拡大を通じて生産者の地位向上を図る」としました。事業として、1)産地と生協との定期的協議を年に複数回開催し、産地と生協と消費者との連絡を密にする。2)消費者と生産者の交流会・勉強会を開催し、情報伝達を行い、互いの理解を深める。3)地域内資源を活用した循環型農業の推進。4)食糧・農業を守るための運動。5)その他目的達成に必要な事業としました。

今年度のそれぞれの部会活動計画として、野菜果物産直協議会では①生協との交流会の実施、②有機・減農薬への取り組み、③学習会・研修会への積極的な参加などをあげました。稲作部会では①環境保全型農業の推進、②交流会、体験田など各イベントへの積極的参加、③使用資材の見直しによるコスト削減などを、やさと鶏肉生産部会では①鶏肉販売拡大のために、各種イベント参加、各取引先との商談、新規取引先に営業を行う、②国産飼料自給率向上のために、耕畜連携体制に力を入れるなどを、やさと鶏卵生産部会では①飼料米の作付面積の拡大と自給飼料率の向上、②国産自給飼料の利用拡大と利用可能な原料の調査研究、③霞ヶ浦での外来魚から作った魚粉の利用調査などをあげて活動するとしています。

やさと農協の川井貞夫組合長は「震災時に消費者がやさとの野菜を買い支えてくれたことに心から感謝したい。産直の本当の力を痛感した。総合産直協議会が消費者の期待に応えるものとして機能させ、やさとの地域総合産直を改めて発展させたい」と抱負を語っています。

また、参加した東都生協の吉澤マネージャーは「鶏肉部会での外来魚の飼料化の研究や飼料米の取り組みなどやさと農協の貴重な取り組みがたくさんあることが改めて理解できた。もっとお互いの情報交換、特に生産者との顔と顔、ひざとひざを合わせての行き来を活発にして、地域総合産直を発展させたい」と語っていました。

# 盛況です!!

## 第3回被災地支援野菜果実即売会

日販連では6月23日に新宿農協会館前で第3回被災地支援野菜果実即売会を開催しました。

梅雨の曇天、しかも高温のもとで、「被災地を応援しましょう」と通行人に訴えました。

福島県のきゅうり、甘酒、宮城県の梅干、茨城県のスマートボール、チンゲンサイ、キャベツなどの販売を行い、沖縄のピーチパイン、スナックパインなども好評で、今までの最高の10万円弱の売り上げとなりました。

収益は被災地義援金として送金されます。



## 「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」に

ご参加を。

緊急行動の日程等

とき 2011年7月2日(土)・11時から16時

ところ 明治公園(東京都新宿区)

行動のイメージ 第1部(原発反対の取り組み交流など)

## 第2部(メイン集会とパレード)

### 【緊急行動呼び掛け人は以下の方々です】

安齋育郎 (安齋科学・平和事務所所長)  
飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)  
市原悦子 (女優)  
伊東達也 (原発問題住民運動全国連絡センター筆頭理事)  
菊池 紘 (自由法曹団団長)  
根岸季衣 (女優)  
野口邦和 (日本大学専任講師)  
肥田舜太郎 (前被団協中央相談所所長)  
本間 慎 (元日本環境学会会長)  
湯川れい子 (音楽評論家)

### 【新聞記事より】

7月2日に東京・明治公園で開かれる「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」の、ブース企画の内容が決まり始めています。約30団体が、テントで「食べたい・知りたい・作りたい」をコンセプトに多彩な企画を行う予定です。

農民運動全国連合会(農民連)は青年部が放射能測定の実演・カンパの訴えと、ペットボトル製の風力発電、ソーラーパネルを使ったかき氷機など、自然エネルギーの紹介をします。

同じブースでは日本販売農業協同組合連合会(日販連)と国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会(全国食健連)がキュウリバー、パインバー、はと麦茶などを、農民連ふるさとネットはサクランボ、牛乳、弁当などを、それぞれ販売します。

原水爆禁止日本協議会(日本原水協)は、核兵器廃絶の署名行動のほか、原水爆禁止2011年世界大会のパンフレットなどの販売も行います。

静岡県労働組合評議会(静岡県評)は、7月23日に開催する浜松原発永久停止・廃炉を求める集会への参加と、署名の呼びかけを行います。

緊急行動は、午前11時からブース企画が、午後1時からメイン集会が、午後2時半からパレードが、それぞれ行われます。

## ■情報

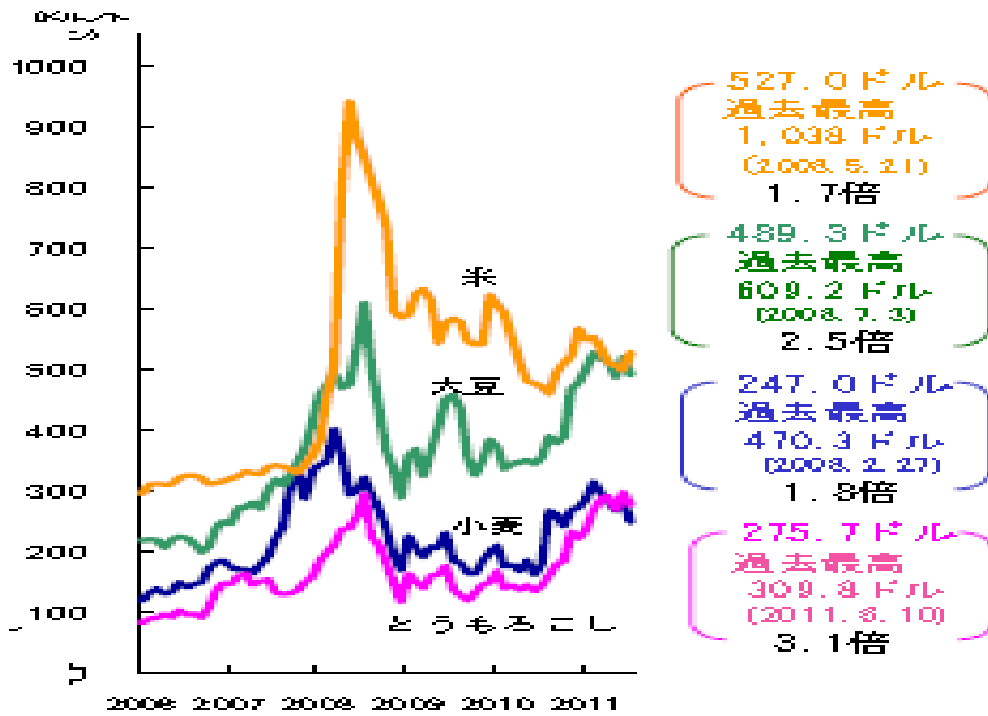
### どうもろこしが小麦を抜いて高騰～国際価格

6月7日、4月13日に続き2度目のトウモロコシと小麦の逆転現象が起きました。小麦よりトウモロコシの方が高い。小麦=7.336 ドル/ブッシェル、トウモロコシ=7.364 ドル/ブッシェル。Bloomberg のデータによると。この逆転は1984年以來のことのようです。

Corn Futures Costlier Than Wheat in Chicago for the First Time Since 1984

By James Poole - Jun 8, 2011 8:29 AM 「Corn futures are more expensive than wheat futures on the Chicago Board of Trade for the first time since 1984, according to data compiled by Bloomberg.」

2011年6月17日現在



みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp